

信仰のための闘い

ユダの手紙―16節

あなたがたに手紙を書いて、聖なる者たちにひとたび伝えられた信仰のために闘うことを、勧めなければならないと思つたのです。(3)

この手紙はヤコブの手紙の著者ヤコブの兄弟であるユダによって書かれたものです。ユダがこの手紙を書いた理由を今日の聖句のように語りました。注目すべきは、信仰は「伝えられた」ものであって、私たちが勝手に造り出したものではないということです。初代教会の時代から連綿と受け継がれてきた信仰を、私たちも歪めることなく正しく受け取るという姿勢が大切です。いつの時代も、伝えられた信仰に新しく独自の考えを加え、福音を変質させてしまう者たちがいるからです。歴代の教会は、使徒信条などを告白することを通して、自分たちの信仰が伝えられたものからズレていかないように常に確認し、そのために闘い続けてきました。私たちの教会も、代々の教会が命懸けて次の世代に伝えてきた「聖なる者たちにひとたび伝えられた信仰」を正しく継承して行きたいものです。